ケアパワーラボ版

虐待の芽チェックリスト

目的

このチェックリストは、介護スタッフが日々のケアを振り返り、「気づかぬうちの不適切ケア」や「虐待の芽」に早期に気づくための【セルフチェックツール】です。

自分を責めるためではなく、“よりよいケア”への第一歩としてご活用ください。

チェック方法

各項目について、「している」または「していない」にチェックを入れてください。

チェック項目	している	していない
利用者を「あだ名」や「ちゃん付け」で呼んでいる	☐	☐
指示的・命令口調で声かけしている(例:「早くして」「動かないで」)	☐	☐
声かけせず、いきなりケアを始めている	☐	☐
着替えや入浴時など、プライバシー配慮が不足している	☐	☐
利用者の持ち物を許可なく片付けたり捨てたりしている	☐	☐
「ちょっと待ってね」と言ったまま放置してしまうことがある	☐	☐
利用者の訴えを無視したり、否定的に返している	☐	☐
自分のやり方や都合を優先してケアを進めている	☐	☐
ケア中に冗談やからかいで利用者を不快にさせている	☐	☐
自分のストレスや感情が態度に出ている	☐	☐
ご家族の不適切なケアを見ても何もしていない	☐	☐
職場内での相談・連携がうまくできていない	☐	☐
上司やサービス提供責任者に相談をためらっている	☐	☐
利用者や家族と金品や私物のやりとりをしている	☐	☐
利用者との距離感が近すぎたり、遠すぎたりしている	☐	☐

チェックの結果、気になる項目や「している」に印がついたものがあれば

- なぜそうなったのかを振り返る
- チーム内で共有・相談する
- 管理者・サービス提供責任者に報告し、改善策を考える

など、「気づき」から「対策」へつなげるアクションが重要です。定期的な振り返りツールとしてもご活用ください。